

会社	会社名	アクセンチュア株式会社		
概要	従業員数	約 5,400 名	業種	情報通信業

### 1. わらい

複数年にわたる企業全体の取り組みとして、ワークスマートへの意識改革、行動改革を行い、様々なバックグラウンド、様々なライフステージにいる社員が最高のパフォーマンスを発揮できるような会社創りに取り組んでいます。

### 2. 施策内容

#### ① ワーク・ライフ・バランス推進施策

##### ・ワークスマートへの意識改革

- (1) 30 Day Challenge: 1日1つずつ個人単位でできる小さなアクション(例えば、帰る時間を決めてから仕事を始めるなど)を全社員向けに送付。
- (2) チェンジエージェント: 現場での推進役が、組織内での活動について、工夫をこらして実施。

##### ・ハラスメント防止に関する研修の実施

##### ・小学校卒業まで、育児短時間勤務の取得が可能

・日本オフィス社長直轄のダイバーシティ推進組織を設置。担当役員の下、各種施策検討、実行を推進。検討テーマは、女性ノクロスカルチャー(多国籍社員)ノ障がい者ノLGBTと多岐に渡る。

・Japan Women's Initiatives(女性社員活用とワーク・ライフ・バランス推進の組織)を設置。2006年の発足以来、女性社員がより能力を発揮し、存分に活躍できる職場環境を提供するための活動を全社的に続けている。

・在宅勤務制度(主に管理部門に適用、対象拡大検討中)、フレックスタイム制度の導入

・ライフパートナーに対する出産休暇等の制度を整備

・クリスマスパーティへのファミリー参加、及びオープンオフィス(家族の会社訪問)を実施

#### ② 長時間労働の削減、年次有給休暇の取得促進

##### 【長時間労働の削減】

・キャリアカウンセラー(1対1対応で、原則管理職がカウンセラーとして設定されている)は、カウンセラーの四半期ごとの残業状況を社内イントラネットで確認できる(見える化)

・長時間勤務者のモニタリングを行い、2週間に一度のペース隔週で全社員の労働時間の実態を経営陣に対して報告。一定以上の残業時間数を超過している部下を持つプロジェクト責任者、および本人に対して改善指導を行う。また管理者には継続的に、高い負荷がかからないよう業務計画を作成してもらい実行進捗を確認する。

・啓蒙活動: 各職場の責任者に、研修や社内メールで、残業時間管理の重要性を周知徹底。

・定期的に人事部がプロジェクト現場を訪問し、現場の労働時間管理方法などの実態を確認、必要に応じて改善指導を行う。また、残業削減に繋がる良い事例を取り上げて、積極的に情報共有している。

・職位に関わらず、効率のよい働き方を重要な評価基準の一つとし、常に最小限の時間で成果を出すような意識づけを徹底している。

##### 【年次有給休暇の取得促進】

##### ・有給取得率向上に関する施策

年次有給休暇取得率目標を設定し、以下有休取得促進キャンペーンの実施

代表者名で有休取得促進・連休取得奨励アナウンスを全社員向けに配信

人事部長名で有休取得促進・連休取得奨励アナウンスを管理責任者向けに配信

各部門長に四半期毎の部門別有休取得率を共有・各部門単位での有休取得推進を依頼

有休取得奨励に関する社内ポスターの掲示

##### ・有給休暇の時間単位取得

・勤続年数により、連続した5日または10日のリフレッシュ休暇を付与。該当社員に対し積極的な利用促進メールを発信(その際には、上記「キャリアカウンセラー」にも通知される)

#### ③ 男性の仕事と育児・子育て両立支援

・育児休業、短時間勤務を取得した男性社員の事例を社内イントラ等で紹介

・男性の育児休暇取得率は年々向上。日本全国の男性育児休暇取得率を大幅に上回る結果となっている。

### 3. 取組実績・効果

・有給休暇取得率向上: 過去3年、7割以上の有給休暇取得率を維持しており、年々増加している。

・女性活用・登用支援(Japan Women's Initiatives) : 活動開始以来、結婚している女性は約2倍、子供がいる女性は約3倍、長く働きたいと思う女性は約2倍に増えるといった結果を残してきた。